

しかし、数年先どころか、人類歴史の大きなトピックスを含めた歴史の終わりに至るまでを正確に前もって預言し、しかも百発百中で実現させているという書物があるんです。バイブルです。もしそんな本があるなら、目の色を変えて読むべきだと思うんですが、日本人は聖書を宗教の本だと思っているので、聖書の本当の凄さに全く気がつかないままなんです。そこで聖書の、特に終末預言について、これからご紹介したいと思います。

聖書は人類歴史が終わりの時代に向かって進んでいることを預言しています。終わりの時代 / 終末時代 / 世の終わり、とも言われますが、終わりの時代とは何が終わるんでしょう？ひと言で言うと、人間が人間を支配する時代が終わるという意味です。人間が他の人間の上に君臨してコントロールする時代を終わらせる。もうちょっと言うと、神を除外した人間が神無しにユートピアを造ろうとして、結局ディストピアを造ってしまったという時代を終わらせる。そういうことなんです。

ところで、交通機関では終わりの駅 / 終着駅 / 最終駅をターミナル駅と言いますね。ターミナル駅は終点の駅ですが同時に、大抵別の路線に乗り換えるための駅でもあるはず。これは、終末時代 / 終わりの時代 / 世の終わり についても同じことが言えるんです。人間が人間を支配する歴史が終わると同時に、新しいことが始まるという意味でもあるのです。

では新しい時代とはどんな時代か？ メシアによる統治の時代。イエス・キリストによる統治の時代です。初めて聞かれた方はビックリするかもしれませんが。2000 年前のキリストがどうやって世界を統治するのか？ 再びやって来ると言うんです。これをキリストの再臨と言います。実は聖書は旧約も新約も、キリストの再臨預言で満ち満ちているんです。

この新しい時代に行く前に、メシアの到来を断固阻止したいという勢力があって、その勢力から猛烈な抵抗が起こります。その猛烈な抵抗の期間は 7 年間続きます。この 7 年間はあまりにも困難な時代なので、多くの聖書学者たちは患難時代とか大患難時代と呼んでいます。

7 年間の患難時代は、前半 3 年半と後半 3 年半に分けることができます。前半よりも後半の方がはるかに困難な時代です。前半は後半に比べると比較的楽な時代ですが、その前半だけで世界人口が半減する。激減するのです。もし 80 億の人口がいたら 40 億人になってしまう。その原因は戦争・飢饉・天変地異・パンデミック~こういうことが非常に詳しく聖書の中に書いてある。特に新約聖書の一番最後に『ヨハネの黙示録』がありますが、そこに非常に詳しく書いてあるんです。

これを知りたい方は、わたくしは『ざっくり黙示録』という黙示録講解シリーズを YouTube でアップしております。よろしければ、そちらもご参考にいただければと思います。

黙示録では、特に 7 年間の患難時代に起こることについて詳しく詳しく預言されているのですが、聖書の他の箇所を見ると、患難時代に入る前に起こること/前兆 についても詳しく詳しく預言されているのです。そして、起こることとして前もって預言されていたことは、百発百中でことごとく実現し続けているんです。今なお実現し続けている。特に近代に入って、この終末預言が矢継ぎ早に実現しています。どれを取り上げても、普通には起こり得ないことなのに、歴史上実際に起こっているんです。

そこで、終末預言：患難時代に入る前にどのような前兆があるのかを、しばらくシリーズでご紹介したいと思います。それによって、ことごとく実現している聖書の言葉の凄さを経験していただきたいのです。そして、人類に聖書を与えた神の賢さを体感していただきたいのです。

何よりも この混迷の時代、ぶれずに正気を保って生きるための指針が この終末預言の中に記されているので、それを知っていただいたら嬉しいなと思います。
そして 何よりも何よりも、患難時代に入らずに済む方法、それが提示されているのが終末預言でもあるのですね。

ということで、終末預言は聖書の肝に当たる部分ですので、よろしければ ぜひまたご覧ください。
そして、チャンネル登録もよろしくお願いします。
ではまた このシリーズでお目にかかりましょう。さよなら！！